



さいじょう

令和4(2022)年2月1日発行

# 市議会だより

第74号



みずきの  
ええとこ発見!



丹原高等学校 園芸科学科 草花班

表紙写真を募集します (12ページ)

特集

決算審査報告

令和3年度補正予算（総額8億7,033万7千円）を可決

12月  
定例会

令和3年第7回12月定例会は、11月30日から12月21日まで開催され、議案32件及び報告1件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、議員15人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に2ページから7ページに掲載しています。



自民クラブ

坪井 剛 議員



- (一般質問)
- 1 合併20周年に向けた基本認識と対応について
  - 2 森林資源・木材産業について

説明はじゅうぶんか？  
本庁方式への移行

問

合併以降、市民の利便性の向上に資するため、総合支所方式を採用してきたが、業務の見直しにより、令和4年度から本庁方式へ移行し、東予総合支所を西部支所、丹原及び小松総合支所をそれぞれ丹原サービスセンター、小松サービスセンターとする方針となっている。  
移行について、市民への説

明はじゅうぶんに行われているのか。  
また、移行後の組織体制や、現在4か所ある出張所はどのように変更されるのか。

答

本庁方式への移行については、市民生活に少なからず影響があることから、基本的な見直しの方向性を広報紙やホームページに掲載し、周知を図ってきた。

現在は、移行により影響がある関係団体と協議・調整を重ねるとともに、タウンミーティングにおいても丁寧な説明に努めているが、業務手順などを整理する中で、今後も適宜、広報紙などを活用しながら周知していきたい。

移行後の組織体制については、西部支所の各課を本庁の各部直轄とし、指揮命令系統を明確化することで、事務を円滑かつ迅速に執行できる体制とする。また、西部支所が各サービスセンターを包括することで、地域住民へのサービス低下を極力招かないようにしたい。  
出張所については、名称を市民サービスコーナーと改め、

三芳出張所は事務の一部を西部支所に集約し、大保木、桜樹、石根出張所は現行と同様の事務を取り扱う。

なお、できるだけスムーズな移行となるよう、年度初めを避け、令和4年8月1日から移行する予定である。

持続可能な市民サービス提供のため、更なる業務の効率化や組織の適正化を図る必要があることから、今回の見直しが最終形ではなく、公民館でのサービス拡充や広聴活動の強化などの見直しを行い、時代に即した行政サービスの在り方を模索していきたい。



西部支所となる東予総合支所

井上 浩二 議員



- (一般質問)
- 1 小・中学校の運営について

早急な検討を！  
小・中学校の統廃合

問

第2期西条市総合計画後期基本計画において令和12年に1学年の児童数が10人を下回る小学校が6校になると推計されており、子どもたちや地域にとってどのような未来を築いていく必要があるのかを判断する時期が迫っている。

更に、令和2年以降のコロナ禍での出生率低下を加味すると、統廃合に向けた迅速な対応が必要と考えており、保護者、学校、教育委員会が一体となって早急な課題解決に取り組むべきであると思うが、どのように考えているのか。

**答**

本市では、令和2年度末に計画期間の満了を迎える西条市教育大綱の改定作業を進めるに当たり、教育に係る政策課題の掘り起こしと改定案の作成に係る参考資料とすることを目的に、小学6年生と中学3年生の保護者、小・中学校の教員及び市民の中から無作為に抽出した1千500人を対象に、西条市の教育に関するアンケート調査を実施した。

本調査では、本市の教育環境に係る傾向をいくつか把握することができたが、小学校に子どもを通わせる際の理想的な学級数に関する設問では、将来的な少子化の進展に伴い、市民が抱く理想的な学校教育環境と現実とギャップがあることに気づかされる結果となった。

このことから、子どもたちの将来に向けて、どのような教育環境が望ましいかを議論する必要があると考えており、今後の進め方について、検討を行っている状況にある。

このような中、去る11月24日に開催した総合教育会議においても、将来的な学校教育

の在り方について議論がなされ、まずは、次回の総合教育会議に有識者を招き、有識者の見解や全国的な動向をうかがう機会を持つという結論に至っている。

将来的な小・中学校の在り方については、たいへん難しい問題であり、丁寧に進めていく必要があることから、現時点ではこれ以上のスケジュールを示せないが、今後、有識者の見解などを踏まえつつ、保護者や地域のかたがたの声をたいせつにしなが、本市の進むべき方向性を検討したい。



複式学級になっている徳田小学校

今井 廣一 議員



(一般質問)  
1 教職員と生徒間のトラブルに係る教育委員会の対応について

**適切な生徒指導の在り方  
教育委員会の見解は？**

**問**

教育環境の変化に伴い、学校教育に対する保護者の感覚も大きく変化しており、適切な生徒指導の在り方について世代間でギャップが生じている。体罰や過度な叱責を肯定するつもりはないが、俗に言う熱血教師という言葉も遠い過去の遺物となりつつあり、こうした状況から、指導の適否を巡りトラブルとなる事例も市内で発生している。そこで教育委員会は、生徒指導の際、どのような点に注意して対応するよう教職員に指導しているのか。

また、トラブルに関する保護者からの苦情・要望などは、どのように対応しているのか。

更に、トラブルが発生した際の情報共有や再発防止策は、どのように講じているのか。

**答**

生徒指導とは、児童・生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるため行われる重要な教育活動である。

児童・生徒の問題行動に対しては、学校と教育委員会の緊密な連携体制が迅速かつ的確な初期対応につながると考えており、指導の際は、複数の教職員で丁寧に対応し、組織的、継続的な支援により児童・生徒や保護者と信頼関係を築くようにしている。

また苦情や要望については、深刻化、複雑化を避けるため迅速な初期対応や事実確認を行い、誠実な対応に努めている。状況に応じて、学校が青少年育成センターなどの関係機関と連携する場合もあるため、その内容を保護者に明示し、学校からも報告を受ける

こととしている。

教職員に不祥事があった場合は、当該教職員に対し、教育委員会から厳重に指導するほか、臨時校長会を開催し、その後、各校で臨時職員会議を開くことで、全職員で再発防止について話し合いを行い、教育委員会へ実施報告書を提出させている。

再発防止には、個々の教職員の意識を高め、学校全体に浸透させることが重要であり、県教育委員会の不祥事防止のためのチェックリストを活用し、学期末ごとに各校で研修に取り組んでいる。



教育相談を行っている青少年育成センター

西条自民  
クラブ

高橋 保議員



2 避難行動要支援者の避難行動支援について

HPVワクチンの  
正確な情報提供を！

**問** 子宮頸がんを予防するHPVワクチン接種は、以前にその副反応から積極的勧奨を行わないよう、国から通知があったが、本市で健康被害の事例はあったのか。  
また、その後、国の通知により、積極的勧奨が再開されたが、どのような認識か。  
更に、接種対象者に対し、正確な情報提供が重要だと考

えているが、どのような方法で情報提供を行うのか。  
加えて、新型コロナウイルス感染症ワクチンの追加接種とHPVワクチン接種の時期が重複し、業務の増大を懸念しているが、どのような対応を考えているのか。

**答** 健康被害については、HPVワクチン接種が原因となる国の予防接種健康被害救済制度における健康被害として認定された事例はない。なお、接種医療機関から副反応の疑いとして国に報告された事例が、本市において3名報告されているが、い

れも回復している。  
積極的勧奨の再開については、接種による有効性が副反応のリスクを上回ると国が認めていることから、今後、適切な接種勧奨に努めたい。情報提供については、最終的な接種の判断を本人が行うことになるため、今後、広報紙などを活用し、国が公表する接種情報を周知することで、接種に関する正しい情報を提供し、接種の可否について判断していただきたい。  
業務増大への対応については、医師会や医療機関と連携し、丁寧に準備・確認を行い、適切に接種を行いたい。



子宮頸がんに関するパンフレット

災害発生直後から  
福祉避難所の開設を！

**問**

高齢者や障害者などの要配慮者が避難する福祉避難所については、東日本大震災時に、指定外の施設が要配慮者を受け入れざるをえなかったことから、自治体との協議の結果、指定外の施設を承認した事例がある。このようなことから、民間施設を福祉避難所として指定し、数を増やす必要があると思うが、どのように考えているのか。

また、災害対策基本法などの改正により、福祉避難所への直接避難が可能となったが、どのように対応するのか。  
更に、個別避難計画の作成が市の努力義務とされたが、今後どのように取り組むのか。

**答**

福祉避難所については、令和3年2月に、市内の高齢者向けグループホームを福祉避難所として指定し、現在33か所となっている。今後も、施設内における要配慮者の安全性が確保される民間社会福祉施設などに対して、福祉避難所の普及啓発に取り



福祉避難所となっている総合福祉センター

組み、災害時における要配慮者に対する避難行動支援の充実に努めたい。  
直接避難については、災害の危険が迫っている場合などは、一部の市有施設を福祉避難所として開設するなど、柔軟に対応している。  
個別避難計画は、自主防災組織などの協力が得られる地域でしか作成されていない状況となっている。個別避難計画の作成には、自主防災組織、民生委員・児童委員、福祉関係者などの協力が必要不可欠であることから、協力を得られるしくみを構築していきたい。

三好和彦議員



（一般質問）  
1 産前産後ヘルパー派遣  
事業について

利用者に寄り添った  
サービスの提供を！

問

妊娠期の女性は体調が変化し、出産後も新生児の育児により心身ともに疲弊しやすくなっている。

本事業は、産前産後のサポートが必要なたにに対し、ヘルパーを派遣するサービスであるが、具体的なサービス内容はどのようなものがあるか。また、行政と利用者間におけるサービスの標準化など、課題については、どのように認識しているのか。

更に、事業者と連携した情報共有体制の構築により、課題を分析し、利用者に寄り添

ったサービスが提供できるよう支援体制を整えるべきだと思うが、どのように考えているのか。

答

本事業は、児童福祉法に基づき国及び県の補助を受け、令和元年8月から実施している事業である。

家族などの援助がなく、育児が困難で、妊娠している者又は産後12か月以内で乳児を養育する者を対象に、育児及び家事を支援する者を派遣し、安心して子育てができる支援を行っている。

具体的な支援内容は、育児に関する支援として、授乳、おむつ交換、沐浴介助、病院受診・健診の同行などがあり、家事に関する支援として、食事の準備及び片づけ、衣類の洗濯、居室の掃除及び整理整頓、生活必需品の買い物などがある。利用料は無料で、1回につき2時間以内、原則20回を限度としている。

利用者ニーズの把握については、事業者と利用者の間でサービス内容を決定していることから、事業者を通じて要望やサービスを利用してきて

かったなどの声があったと報告を受けているが、利用者から直接、サービス内容に対する意見や要望などは伺っていない。

事業者間におけるサービス内容の標準化については、事業開始時の説明会において、事業内容やサービス利用に際しての留意事項などを事業者に説明することで、事業実施に向けて認識の統一を図った。

また、各事業者のヘルパーに対しては、事業開始時に保健師による育児援助研修を行うとともに、ヘルパーの資格のない職員には、毎年、訪問型サービスA従事者養成研修

の受講を必須要件としており、サービス水準の確保に取り組んでいる。

情報共有体制については、各事業者からの問い合わせなどに対し、適宜、個別に対応している状況にあるが、事業の定着に伴い、問い合わせは減少している。

今後は、事業者の全体会を令和3年度中に開催し、意見交換や情報共有による本事業のサービス水準の確保に取り組むとともに、事業者が聞き取っている利用者の意見を分析し、よりよい子育て環境の充実を図るよう、情報共有体制の構築に努めたい。

西条市 LOVE SAJO

休憩してね、ママ。

2018年スタート 無料

産前産後ママ向け 家事・育児サポート

ハピ♥すくヘルパー

産前産後の方に向けた無料ヘルパー派遣「ハピ♥すくヘルパー」では、日中、ご家族などの援助がなく、育児などが困難な方を対象にヘルパーを派遣しています。ぜひご利用ください。

どんなことを手伝ってもらえるの？

- 家事援助
  - ①食事の準備や片づけ ②洗濯 ③お部屋の片づけ ④掃除 ⑤生活必需品の買い物 など
- 育児援助
  - ①授乳 ②おむつ交換 ③沐浴介助 ④授乳相談 ⑤泣きなどへの対応 など

項目	内容	料金
回数・時間	6,20回 - 1日1回2時間まで	無料
料金	無料	
ご利用時間	月～金、9時～17時	
連絡内容	家事援助 家事係助、育児援助	

まずは、お近くの窓口で利用者登録をしてください。

- 西条市役所 本庁 子育て支援課 0897-52-1370
- 丹原総合支所 市民福祉課 0898-69-7300
- 東予総合支所 市民福祉課 0898-66-2700
- 小松総合支所 市民福祉課 0898-72-2111

〒790-0001 西条市 西条市役所 子育て支援課

産前産後ヘルパー派遣事業のチラシ

西条みらい  
クラブ

御庄秀樹議員



（一般質問）

1 一般消費者による悪質クレーム（カスタマーハラスメント）をなくす取組について

悪質クレーム防止のため  
消費者への啓発を！

問

近年、消費者が従業員に対して一般常識を超える不当な要求や乱暴な行為を行うカスタマーハラスメントが問題となっている。

これらをなくすには、消費者が正しい消費行動をする必要があることから、市が消費者教育を行うべきであると考え、啓発活動についてどのように考えているか。

**答** 消費生活センターの取組の中で、消費者に求められるモラルなども啓発できるように検討したい。

真鍋 顕 伸 議員



1 (議案質疑)  
西条市アウトドア活動拠点施設の指定管理者の指定について

**アウトドアオアシス石鎚指定管理の在り方は？**

**問** 市の財政が厳しい中、好調な経営状況を踏まえ指定管理委託料の減額も考えられるが、増額理由は何か。

**答** 市が負担していた光熱水費を指定管理者が支払うことによる増額が主な理由である。なお本施設については、指定管理者の経営努力による適切な管理運営と集客

がなされ、活性化が図られていると評価している。

佐々木 充 議員



1 (一般質問)  
SNSにおける誹謗中傷対策について

**本市独自の条例制定を！**

**問** インターネットが普及する一方で、SNSによる誹謗中傷が多発するなど被害も増加している。被害者救済や中傷抑止を目的とした条例を制定する考えはないか。

**答** 西条市人権文化のまちづくり条例を遵守し、関係機関と連携しながら各種施策を実施することで、被害者救済や誹謗中傷の抑止につながるかと考えており、現時点ではこれらに特化した条例制定の予定はない。

西条市民  
クラブ

佐伯 利彦 議員



1 (一般質問)  
みどりの食料システム戦略について

**有機農業の推進を！**

**問** 令和3年に国の農業政策として決定したみどりの食料システム戦略の下、食料の安定供給、農林水産業の持続的発展及び自然環境の保全に努める必要があるが、どのように展開していくのか。

**答** 本戦略は、生産者の減少などによる生産基盤の脆弱化が懸念され、地域の将来を見据えた持続可能な新しい食料システムの構築が急務となる中、中長期的な観点

から調達、生産、加工、流通消費の各段階の取組及び環境負荷軽減を推進するものである。

本市では、国の環境保全型農業直接支払交付金を活用し、有機農業や環境保全効果の高い営農活動に取り組み、農業者団体に対し助成を行い、農業生産に由来する環境負荷の軽減に取り組んでいる。しかし、有機農業は、慣行栽培に比べ労力がかかる上に収量や品質が不安定であり、期待する販売価格水準に達しないなどのリスクから、全国的にも伸び悩んでいる。

今後は国の動向を注視するとともに、関係機関と連携し、農業者との調整を図りながら主体的に有機農業に取り組める体制の整備について検討したい。



有機農法で栽培されたブラックベリー

公明党  
西条市議員団

高橋 淑子 議員



1 (一般質問)  
はり・きゅう・あん摩・マッサージの施術に対する助成について

**お悔やみコーナーの設置を！**

**問** 遺族の負担軽減、住民サービス向上のために、先進事例に倣いお悔やみコーナーを設置する考えはないか。

**答** システム導入や、職員体制などの課題があるため、総合支所の見直し状況も踏まえ、死亡後の手続きが最小限で済むよう検討したい。

城戸 力 議員



- (議案質疑)
- 1 健康診査事業について  
(一般質問)
  - 1 子ども食堂に対する支援について
  - 2 救急体制について

#7119で

市民に大いなる安心感を

**問** 救急安心センター事業を導入し、相談窓口(7119)を設置する考えはないのか。

**答** 本事業は、市民が救急車を呼ぶかどうか迷った際に、専門家が適切なアドバイスを行う相談窓口を設置するもので、不急の救急出動の抑制や潜在的重症者の発見などの効果が期待されていることから、今後、関係機関と連携し導入に努めたい。

会派に  
属さない議員

高橋 章 哲 議員



- (一般質問)
- 1 公共施設の電気料金について
  - 2 職員の健康管理について

競争入札の導入による

新電力の利用は？

**問** 松山市では、一部の電気料金に競争入札を導入し、新電力との契約によりコスト削減がなされたが、本市で導入する考えはあるのか。

**答** 新電力の中には、自社で発電所を持たないところも多く、公共施設への安定的な電力供給を考慮すると懸念もあるが、コスト削減に

向けて新電力の活用が見込める施設を見極め、競争入札の導入も含めて検討したい。

市川 みどり 議員



- (一般質問)
- 1 公民館を拠点とした子どもたちを育む取組について
  - 2 バス路線「禎瑞線」の廃止について

放課後子ども教室に

高齢者の経験と知恵を！

**問** 放課後子ども教室における地域ボランティアの人材不足は、どの地域でも共通する課題である。高齢者の経験が子どもの成長や思いやりの心を育むため、高齢者の力を生かす考えはないか。

**答** 高齢者にも地域ボランティアとして教室運営

に参画してもらい、活躍していただきたいと考えている。

森川 亜 紀 議員



- (一般質問)
- 1 西条市役所における障がい者雇用について  
ほか2件

安心して働ける環境を！

**問** 西条市障がい者活躍推進計画ではキャリア形成に関する目標を掲げているが、市職員の進捗はどうか。

**答** 定期的あるいは必要に応じた上司との面談の実施により、障がいのある職員の現状把握と業務熟練度の把握・管理をし、特性や状況に応じたサポートに努めている。今後は、自分に合ったキャリアの選択や安定就労の実現、活躍できる環境の整備に

についても取り組みたい。

越智 由美子 議員



- (一般質問)
- 1 脱炭素社会の実現について
  - 2 自治体DXについて

CO2を削減するための

目標設定を！

**問** 国の方針である「2050年CO2排出ゼロ」を達成するためには、本市としても2030年までにCO2の排出を最低50パーセント削減するなど、中間目標を設定し、取り組む必要があるのではないか。

**答** 産業界などとも意見交換を行い、段階的に達成すべき中間目標などを適宜設定しながら、全体的な計画策定に向けて歩みを進めたい。

## 総務委員会・分科会での主なQ&A

12/9開催  
付託議案11件  
請願 2件

### 愛媛県市町総合事務組合

#### 規約の変更について

愛媛県市町総合事務組合の  
共同処理事務構成団体からの  
脱退に伴う財産処分について

### ポイント解説!



### 愛媛県市町総合事務組合とは?

愛媛県市町総合事務組合は、市や町などで構成される複合的一部事務組合です。

事務内容は、構成団体の①退職手当事務②消防団員等公務災害補償及び退職報償金事務③交通災害共済事務④自治会館事務⑤市町議会議員の公務災害補償等事務です。

西条市は②の事業において構成団体となっています。

構成団体から脱退するに当たっては、他の構成団体の議会の議決が必要となるため、今回の西予市の脱退について、西条市議会に議案が提出され、委員会で審査を行いました。

**Q** 西予市が脱退する理由は?

**A** 交通災害共済の加入率低下や民間保険の充実により当該共済制度の必要性が低下しているほか、交通災害共済加入時に取りまとめを依頼している自治会役員の負担が大きくなっていることなどから、事務事業全体の見直しを実施し、交通災害共済事務に係る共同処理事務構成団体から脱退することとなっている。

### 健康診査事業

**Q** システム改修により期待される効果は?

**A** 現在、個人が人間ドックなどの健診結果の履歴を確認するには、紙媒体で健診結果を収集する必要があるが、マイナポータルにより閲覧できるしくみが構築できれば、自身の健診結果履歴を一元的に確認できるようになり、健康の維持・増進効果が期待される。

### 休日夜間急患センター 事業継続支援金

**Q** 1千200万円を追加計上する理由は?

**A** 昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見込み、当初予算に事業継続支援金2千400万円を計上していたが、市内クラスターの発生などの影響により、患者数が当初の見込みよりも下回ったため、追加計上するものである。

なお、追加計上により、事業継続支援金の合計は、昨年度と同額の3千600万円となる。

**Q** 改正内容は?

西条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

**A** 保育所などと保護者間の手続に関する書面などについて、電磁的方法による対応も可能とするため改正しようとするものである。



休日夜間急患センター

## 福祉文教委員会・分科会での主なQ&A

12/10開催  
付託議案 5件  
請願 4件

# 環境消防委員会・分科会での主なQ&A

12/10開催  
付託議案 5件

西条市印鑑条例の一部を  
改正する条例について

**Q** 印鑑登録証明書が交付できる店舗数及び1通当たりの手数料は？

**A** 市内コンビニエンスストア46店舗で利用が可能であり、利用時間は、各店舗の営業時間のうち午前6時30分から午後11時までとしている。

また、手数料については、窓口交付と同様に1通当たり300円であり、その内117円をコンビニエンスストアが手数料として徴収し、残りが市に納付される。

**Q** コンビニ交付での手数料を値上げする考えは？

**A** 平成29年度以降にコンビニ交付サービスを導入した県内の自治体では、窓口交付と同額に設定しているため、窓口交付手数料と同額でも市民の理解を得られると考えている。

西条市消防団条例の一部を  
改正する条例について

**Q** 休団制度の導入状況及び制度対象者数の見込みは？

**A** 休団制度は、消防団員の確保対策の一環として、全国的に導入が広がっており、県内では4市町が導入し、2市が検討中である。今回の制度導入に当たり、対象者数は団員の活動状況調査の実績から、5名以内を見込んでいる。



消防団幹部教養訓練

# 産業建設委員会・分科会での主なQ&A

12/9開催  
付託議案 6件  
請願 2件

西条市石鎚ふれあいの里  
設置及び管理条例の一部を  
改正する条例について  
西条市アウトドア活動拠点  
施設設置及び管理条例の  
一部を改正する条例について

**Q** 使用料の改定理由は？

**A** 現行の使用料は、石鎚ふれあいの里、アウトドアオアシス石鎚ともに他地域の類似施設と比較して安価であり、受益と負担のバランスが適正と見え、また、ウィズコロナ、ポストコロナを想定した際、指定管理者に一定の裁量を持たせ、経営上の制約を軽減することも重要であると考えている。

以上のことから、指定管理者が柔軟な料金設定を行い、適切な利益を得られるよう条件を整備することで、指定管理者の更なる経営努力を促し、より施設の魅力やサービスの向上が図られると判断し、改定しようとするものである。

**Q** 料金改定による増収分を考慮し、指定管理委託料を減額する考えは？

**A** 今後、指定管理者が来期以降の料金を設定することになるが、まずは、新たな料金による収入の推移を注視しつつ、その後、実績に基づき、減額も含めた指定管理委託料の在り方を検討したい。



アウトドアオアシス石鎚キャンプ場

# 12月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議案第73号	令和2年度西条市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	議案第102号	西条市下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第74号	令和2年度西条市水道事業会計決算の認定について		議案第103号	西条市水道事業給水条例の一部を改正する条例について		
議案第75号	令和2年度西条市病院事業会計決算の認定について		議案第104号	西条市消防団条例の一部を改正する条例について		
議案第76号	令和2年度西条市公共下水道事業会計決算の認定について		議案第105号	令和3年度西条市一般会計補正予算(第14回)について		
議案第85号	令和3年度西条市一般会計補正予算(第12回)の専決処分について	承認	議案第106号	令和3年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)について		同意
議案第86号	令和3年度西条市一般会計補正予算(第13回)について	原案可決	議案第107号	令和3年度西条市介護保険特別会計補正予算(第2回)について		
議案第87号	令和3年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)について		議案第108号	令和3年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算(第1回)について		
議案第88号	工事請負契約の締結について		議案第109号	令和3年度西条市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1回)について		
議案第89号	工事請負契約の締結について		議案第110号	令和3年度西条市一般会計補正予算(第15回)について		
議案第90号	西条市アウトドア活動拠点施設の指定管理者の指定について		議案第111号	西条市庄内財産区管理委員の任命について		
議案第91号	愛媛県市町総合事務組合規約の変更について		報告第18号	調停の申立ての専決処分について	報告聴取	
議案第92号	愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体からの脱退に伴う財産処分について		議員提出議案第5号	国際的に問題となっている人権侵害・民族差別等の解決を促すよう日本政府に必要な措置を求める意見書について	原案可決	
議案第93号	土地改良事業の施行について		請願第6号	米価の暴落阻止のため過剰在庫の市場隔離と生活困窮者への食料支援を求める請願	不採択	
議案第94号	西条市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例等の一部を改正する条例について		請願第7号	新型コロナウイルスを踏まえた公立・公的病院の維持・存続を求める請願		
議案第95号	西条市手数料条例の一部を改正する条例について		請願第8号	登下校時の道路環境の改善を求める請願	継続審査	
議案第96号	西条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	請願第9号	市立図書館の運営改善を求める請願			
議案第97号	西条市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	請願第10号	高校生への医療費全額助成を求める請願	不採択		
議案第98号	西条市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	請願第11号	学習の場を提供することを求める請願	継続審査		
議案第99号	西条市印鑑条例の一部を改正する条例について	請願第12号	日中不再戦、日中友好の外交を求める意見書の提出を求める請願	不採択		
議案第100号	西条市石鎚ふれあいの里設置及び管理条例の一部を改正する条例について	請願第13号	国際的に問題となっている人権侵害・民族差別等の解決を促すよう日本政府に必要な措置を求める意見書の提出を求める請願	採択		
議案第101号	西条市アウトドア活動拠点施設設置及び管理条例の一部を改正する条例について		議員の派遣の承認について	承認		

## 議員別議案等賛否一覧表

上表は議案などの審議結果ですが、下表には賛否が分かれた議案などの状況を掲載しています。(現議員数28名)

議案等 (賛成：反対)	議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
		越智由美子	森川亜紀	高橋淑子	城戸力大	塩崎雄彦	三好和彦	今井廣一	井上浩二	市川みどり	佐々木充	真鍋伸	佐伯利彦	高橋保彦	藤井武彦	川又由美恵	臼坂均	坪井剛	西坂壽	高橋章哲	伊藤新平	御荘秀樹	武田功博	行元博	一色輝雄	楠智学	越智俊幸	藤田節雄	伊藤孝司	
議案第73号	26：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第74号	26：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第76号	26：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第86号	26：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第99号	24：3	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第100号	26：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第101号	26：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第102号	26：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第103号	26：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第6号	2：25	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
請願第7号	2：25	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
請願第8号	5：19	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
請願第10号	5：22	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
請願第12号	2：25	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
請願第13号	24：3	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第5号	24：3	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：議案などに対して賛成 ×：議案などに対して反対 棄：棄権 ※ 行元 博議員は、議長職のため表決に加っていません。

### 国へ意見書を提出しました

12月定例会最終日(12月21日)に、議員提出議案として、次の意見書案が提出され、審議の結果、原案可決し、内閣総理大臣をはじめ関係機関に送付しました。

### ▼議員提出議案第5号

国際的に問題となっている人権侵害・民族差別等の解決を促すよう日本政府に必要な措置を求める意見書について

### 議会報告会を動画により配信しています

市議会では、市民の皆様に関心を持っていただくことを目的に、議会報告会を平成30年度から開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、議長挨拶及び4常任委員会からの報告動画をホームページに掲載しております。

下記QRコードからご覧ください。



# 決算審査報告

## 令和2年度 決算をチェック!



現地調査の様子

決算審査とは、予算の執行や各事業が適正かつ効果的に行われているかなどについて、審査するものです。

令和2年度各会計の決算議案4件について、決算審査特別委員会を設置し、9月27日から9月29日までの3日間で関係箇所の現地調査及び書面審査を行い、12月定例会初日（11月30日）に、いずれも認定しました。

このページでは、委員会での審査の一部をお知らせします。

認定

### わくわく健康ポイント事業における地域ポイントの効果は？

令和2年度は、市内で参加している約30店舗で、700人弱のユーザーが約413万円分のポイントを消費している。

店舗からは新規の顧客獲得につながったとの声があり、おおむね好評であったと捉えている。

### CLT利用促進業務委託料の成果は？

CLTのPRをE-CLT株式会社に委託している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、国内でのPR活動はできなかったが、中国北京市の展示会でCLT建築物を展示し、PRした結果、中国の国有会社や国有大学などから、CLTの活用について相談を受けている。

### 認知機能チェックの実施状況は？

各総合福祉センターなど90か所で実施し、1次チェックを731名、2次チェックを16名が受けた結果、医療機関への受診勧奨を行ったかたはいなかった。

チェックを受けたかたからは、自身の認知機能が分かってよかった、継続してやってみたいなどの好意的な意見が寄せられた。

### 周桑病院の使用されていない精神科病棟を新型コロナウイルス感染症の病床として利用する考えは？

国庫補助金を活用した施設であり、他用途の利用については県及び所管の中国四国厚生局に確認する必要がある。

また、現在のところ、県が病床確保を行っていることから、コロナ病床としての利用は検討していない。

Manifesto Awards 第16回マニフェスト大賞

「最優秀躍進賞」を受賞



地方自治体の議会や首長などの優れた活動を募集し、表彰する「第16回マニフェスト大賞」(主催:マニフェスト大賞実行委員会、共催:早稲田大学マニフェスト研究所、毎日新聞社、後援:株式会社共同通信社)において、応募総数2,730件の中から本市議会の取組が最優秀躍進賞に選ばれました。

ここでは、その取組内容をご紹介します。

政策提言会  
～より身近な課題解決のために～

平成23年度から毎年度開催している政策提言会は、提言の実施単位を会派及び会派に属さない議員とし、議員一人一人が諸課題に向き合い、政策を提言することで、議員の政策形成能力の向上に努めました。



議員間討議による議会機能の飛躍的向上

議員間討議による意思決定を行うための特別委員会を設置し、議会改革の推進と議会機能の更なる活性化に向けた取組を行いました。また、取組を振り返る評価・検証の実施により改革の推進に向けたサイクルが形成されました。

議会事務局業務の改善による  
時間外勤務時間削減作戦

事務の効率化と紙資源の消費抑制などを目的に導入したタブレット端末などと、業務の見直し、改善の相乗効果により、大幅な時間外勤務時間の削減に成功しました。

議会改革度ランキング全国第30位  
に続く快挙!!  
はじめての応募で最優秀躍進賞  
に選ばれたんよ!!



表紙写真募集!

議会だよりの表紙写真を募集します。

応募方法

・住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影日時を記載の上、議会事務局へメール、郵送又は持参してください。(写真の提出はJPEGデータのみ)

応募作品の注意点

・西条市内で撮影した人物、風景、行事などの写真を募集します。

・被写体に人物が入っている作品は、必ず本人(未成年の場合は保護者)の承諾を得てください。

・応募作品は返却しません。

・令和4年3月31日(令和4年5月1日発行号)

※提出先など詳細は西条市議会ホームページをご確認ください。



編集後記

本号は12月定例会の審議内容を中心に編集しました。

表紙写真には、議会フロアでの作品展に協力いただいた丹原高等学校の生徒を掲載しました。

また、上記のとおり表紙写真の募集を始めました。

これは、皆様とともに市議会だよりを作りあげることで、市議会に対し関心を持っていただくことを目的に実施するものです。

皆様からの素敵な写真をお待ちしております。

市議会だより編集委員会

- |       |         |
|-------|---------|
| 委員 長  | 伊 一 色 輝 |
| 副委員 長 | 伊 藤 新 平 |
| 委員    | 高 橋 戸 保 |
| 委員    | 御 庄 樹   |
| 委員    | 武 田 秀   |
| 委員    | 楠 智 秀   |
| 委員    | 越 田 孝 司 |
| 委員    | 伊 藤 孝 司 |

